

常任委員会行政視察報告

環境産業委員会

◆視察月日 7月28日～30日
◆視察市 滋賀県東近江市
三重県桑名市

◆視察項目

地域資源循環システム
木質バイオマス発電共同研究
中心市街地活性化
ごみ減量・再資源化システムと環境教育

菜の花エコプロジェクトの取り組み

東近江市は、菜の花エコプロジェクトに取り組んでいる。琵琶湖に大量の赤潮が発生した主な原因が合成洗剤に含まれるリンであることを重視した消費者は、無リンの石けんを使う運動を始めた。廃食油を集め、粉石けんへリサイクルした。廃食油のさらなる利活用を求めて、軽油のかわりに植物油からディーゼルオイルを開発した。そして菜の花プロジェクトを立ち上げた。転作用に菜の花を植え、搾油して油かすは肥料や飼料に使い、二酸化炭素の量を抑え廃食油は軽油代替燃料にリサイクルすることで、地域内で資源が循環する。「地域のごみは地域で解決する」ことを理念とし、「地域発想・地域主体」のコンセプトで取り組んでいる。



東近江市「菜の花館」にて

（株）まちづくり桑名 その取り組み

桑名市も、大型商業施設の郊外進出により、中心市街地の商店街や中小売店を取り巻く環境が悪化し、まちづくり三法の流れを受けて計画の具体化推進組織として、まちづくり会社設立の必要性から市も出資して（株）まちづくり桑名が設立された。「空き店舗対策事業」として、家賃助成は月額家賃の2分の1または10万円を一年間助成する。改装及び改築助成は10万円まで。また、倉庫ビル内に「商業起業家」育成を目標として区画約2坪のショップスペースを一万円の賃借料で営業を補助している。

その他、民間活力の支援のもと、駅前再整備の第一弾として、公共施設「サンファール」のテナント管理・運営やまちづくり工房等の事業を行っている。（飯坂）

文教民生委員会

◆視察月日 7月28日～30日
◆視察市 北海道小樽市、
深川市、旭川市

◆視察項目

小中学校における特色ある教育活動
福祉コミュニティ都市推進事業
廃校施設の利用状況（向陽館）
健康福祉センター「デ・アイ」
旭川市科学館サイパル

高齢者懇談会「杜のつどい」

小樽市の中心市街地にある産業会館を拠点とする、高齢者懇談会「杜のつどい」を視察した。高齢者が培った豊かな知識や経験を生かし、生きがいづくりや地域コミュニティの再生などに取り組んでいる。「給付型高齢福祉」から「参加型高齢福祉」を目指す。540人の会員等で運営され、安心して暮らせるまちづくり、文化の継承、健康づくり、情報・相談・広報活動など30を超える講座が開設されている。440万円の事業収入と、125万円の会費収入を主な財源とし、市の委託事業「認知症予防・脳力アップ教室」や、市との共同事業「子育て支援・杜ひろらんど」等も実施。生き生きとした高齢者の事業の取り組みは、本市の福祉行政に参考になる事例である。



小樽市産業会館前にて

芸術文化交流施設「向陽館」

廃校になった深川市向陽小学校を、市のぬくもりの里事業の一環として改修整備し、木造校舎の歴史的遺産の保存と、市にかかわりのある画家「高橋要」氏のアトリエ・ギャラリーとして、施設管理も同氏に委託したもの。絵画を展示するため、工事等で改修費1億7200万円（一般財源4400万円、起債1億2600万円、残り国・道支出金）。施設管理費は年間300万円。本市にとって、閉校した7小学校の校舎の利活用は重要な問題。費用がかからないアイデアあふれた利活用の方が課題である。（菅原）

※総務企画委員会、建設委員会の行政視察報告は次号に掲載します。